

広報



みさわ

12

2014年
(平成26年)
No.722
月号

CONTENTS

02 特集 考えてみました。

避難所生活

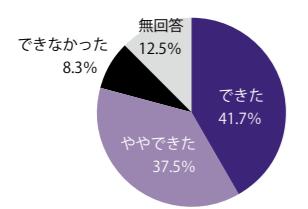
- 06 Pick UP 姉妹都市交流
- 10 トピックス
- 14 市政の動き
- 24 マックチャンネルガイド
- 26 出来事通信
- 28 情報ねっと
- 36 三沢魂

11月6日
りんご収穫体験／三沢空港ターミナル

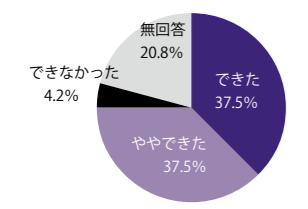
三沢空港ターミナル株式会社が「ものづくり」の尊さと喜びを感じてほしいと続ける収穫体験に、三沢カトリック幼稚園が参加。春に授粉作業を手伝った年長園児42人は、実ったりんごを手に取り笑顔を見せていました。

総合防災訓練 避難所運営訓練
第五中学校参加生徒のアンケート結果

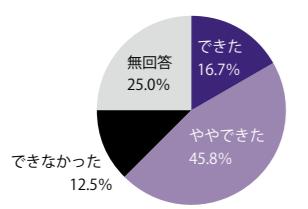
Q. 男女共同参画の視点を取り入れた避難所づくり・避難所運営ができましたか?



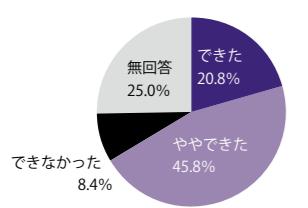
Q. 避難所運営のノウハウを学ぶことができましたか?



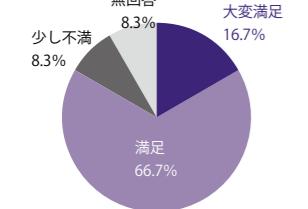
Q. 支援者の立場で、被災者のニーズキャッチ力を身に付けることができましたか?



Q. さまざまな被災女性の課題を確認・可視化することができましたか?



Q. 訓練に参加していかがでしたか?



▲総務・情報班

避難者の受け付けと把握、避難所の掲示板やルールづくりを担当。

給食・給水班▼▶

アルファー化米を使った炊き出し、場所の設営、食事や飲み物の配布など



◀要援護者・女性配慮班▼▶

要援護者や固有の生理現象を抱える女性たちに優しい配慮をした避難所づくりを訓練。男女別の仮設更衣室や女性専用の物干し場、障害者や高齢者のための段ボールベットなども設置。



◀物資・施設管理班▼▶

救援物資の毛布やブルーシート、段ボールを使って、避難者の生活スペース、物資の配給スペースなどを設営。導線を確保し、さまざまな立場の人々に配慮。限られた物資をどう分配するなども話し合った。



総合防災訓練 避難所運営訓練

10月5日、市役所や三沢漁港、第五中学校を会場に総合防災訓練を実施。

第五中学校体育館では、同校生徒と教職員、市職員、西古間木地区町内会の人々による避難所運営訓練が行われました。



特集 考えてみました。
避難所生活

災害から生命を守るために、避難者同士で協力しながら生活する避難所。東日本大震災以降、避難所運営の訓練を行う地域が増えています。東日本大震災における関連死の約5割は、避難所生活等での肉体的・精神的疲労が原因。長期避難所生活において、少しでも快適に過ごせるかどうかは生命に関わる問題です。また、生命を守るために、公の助けを待つばかりではなく、自ら守り、助け合う精神が大切。そして、いざというときに行動できるよう、日頃からの訓練が必要なのです。

10月5日、市と西古間木地区内会、第五中学校教職員などによる実行委員会が、総合防災訓練に合わせて、第五中学校体育館で避難所運営訓練を実施。同校の1年生52人も参加して、避難所の設営や運営を体験しました。内容は、震度6弱の地震発生直後まで。地域の人々と市職員、中学生が役割ごと4つの班に分かれ、話し合い、協力しながら進めました。

今回の訓練で重要なポイントは二つ。一つは、男性も女性も協力し合う男女共同参画が進めました。

避難所運営を考えてみました

堀口1丁目町内会 避難所生活対応訓練

参加児童の感想

▶電気もないしガスも出ないし、水道も使えない状態でも、工夫をすれば何とかなるということが分かりました。
(小学校3年生・男子)

▶「2日くらいは暮らせそうだけど、3日は無理かな」と思いました。
(小学校3年生・女子)

▶防災で必要なのは、棚とかを固定すること、まわりと協力すること、コミュニケーションを取ることだと思いました。
(小学校4年生・男子)

▶家にある防災グッズを、もう一度確かめておきたいと思います。いざというときに使えるようにしたいです。
(小学校5年生・男子)

▶サバイバル食器づくりが難しかったです。いざというときに作れないと困るので、家で何個も作りました。
(小学校5年生・男子)

▶特に冬の場合、雪が降っているので状態も変わって避難しにくくなるので、その方法や防寒方法も教えてもらいたいです。
(小学校5年生・女子)

▶寝床は、みんなで段ボールやブチブチを敷いて作りました。意外と体が痛くならなかったのでよかったです。
(小学校6年生・男子)

▶朝ごはんのパンは硬かったけど、おにぎり用の「ふりかけ」をかけて食べたらおいしかった。防災リュックには「ふりかけ」を準備した方がいいと思いました。おいしく食べる工夫も必要と感じました。
(小学校6年生・男子)



避難所に関する訓練は、主防災組織や町内会でも行われています。10月4日には、堀口1丁目町内会が、こがね公園管理棟で小学生親子を対象とした避難所生活対応訓練を実施。児童14人を含む26人が参加しました。同町内会では初となるこの訓練は、「ものづくりの機会と年代を超えたコミュニケーションを図る場を子どもたちに提供したい」と考えていた有志が発案。東日本大震災で長期化した場合、町内の人々の協力が求められることから避難所生活体験をテーマに企画され、『三沢市災害に強いまちづくり市民提案事業補助金』を活用するなど市の協力を得て実現したものでした。

訓練を前に、同町内会有志代表の内藤博文さんは「目的は皆さんのコミュニケーションです。防災訓練ではあります。防災担当であり、現在も防災アドバイザーとして防災講習会等の講師を務める館郷司さん指導のもと、1泊2日の避難所体験が始まりました。

何事も実際に体験してみることが大事。必要なこと、不足しているものの、今まで見えていなかつたものが見えるようになり、経験は冷静さと的確な判断力を与えてくれます。今一度、避難所や防災について、周りの人と共に考えてみてはいかがでしょうか。

【特集】 考えてみました。

第五中学校の避難所運営訓練中、できるだけ生徒たちにも考え方をさせ、体験させようとした大人たち。そこには「指示を待つ大人になつてほしくない。自ら動いて生き残つてほしい」という思いがありました。また、堀口1丁目町内会の子どもたちは、友情を深めながら、協力することの大切さを学びました。そして、どちらの訓練も、参加者全員に、避難所や災害に対する大きな意識の変化を与えるました。

はもちろんですが、地域の密なコミュニケーションが何よりも大きな力になるかもしれません。堀口1丁目町内会が挑戦したこの避難所体験から、地域の未来を担う子どもたち、そして今地域を支える人たちが多くのこと学び、親睦を深めていました。

考えましょう。避難所や防災

まず、災害発生を伝えるサインの音を聞かせ、過去の大災害の状況を解説した館さんが、隣近所など地域の人々が助け合うことで多くの命が救われたことを伝えました。続いている、水や電気などライフルが絶たれた場合に、身近にいるもので代用する方法を伝授。参加者は協力しながら、新聞紙とビニールで紙食器を、ティッシュペーパーやアルミホイル、ピンなどを使つて簡易ランプを作りました。また、生活用水をつくるため、ろ過の方法も体験。ペットボトル容器にティッシュペーパーや木炭、小石、砂、綿などを詰め、オレンジジュースがどのように濾されていくかを学びました。さらに、段ボールで寝床作りに挑戦した参加者たちは、間仕切りをしてプライバシーにも配慮。夜には自分で作った紙食器と簡易ランプを行い、断水・停電時の食事を体験しました。

館さんが丁寧に指導するものの、初めての体験に戸惑う子どもたち。参加者同士、教え合う中で、「助け合うことの大切さ」を実感したことでしょう。いつ起こるかわからぬ災害に対して、防災知識・技術の習得、備蓄などの準備

避難所生活を体験しました

助け合うことの大切さ

姉妹都市友好親善使節団の主な日程

10月 2日	▶三沢駅を出発 → 成田空港 → シアトルに到着 ▶シアトル市内を視察
10月 3日	▶シアトル → 東ウェナッчиに到着 ▶歓迎セレモニー ▶歓迎夕食会
10月 4日	▶ホストファミリーと交流
10月 5日	▶ミス・ビードル号復元機を見学 ▶「翼と車輪の祭り」に参加 ▶ホストファミリーと交流
10月 6日	▶ウェナッчиバレー博物館を見学 ▶ウェナッчиバレー大学を訪問
10月 7日	▶中学校・高校の授業を体験 ▶小学校で日本文化を紹介
10月 8日	▶市内および近郊を視察 ▶送別晩餐会
10月 9日	▶ウェナッчи → シアトルに到着
10月 10日	▶シアトル → 成田空港
10月 11日	▶成田空港 → 三沢駅に到着



Pick Up 未来を担う子どもたちに夢と経験を 姉妹都市交流

姉妹都市友好親善使節団が
ウェナッчиバレーへ

文化や習慣、授業などから感じた日米の違い

大使たちは、食文化や生活習慣、学校など日本との違いに戸惑うことも多かった。バランスを重視し、残さず食べることを美德とする日本で生まれ育った中高生。初めて体験するダイナミックな量とメニューの食事に圧倒される。また、ウェナッчи市・東ウェナッчи市内の小・中学校を訪問した際には、日本と大きく異なるシステムや自由な授業スタイルに驚いた。

日米の違いは、人間の内面的な部分にも表れていたという。ウェナッчиの人々は、自分の意見をしっかりと持ち、何事にも率先して積極的に行動。そして、率直に伝える「ありがとう」の言葉から、大使たちは人としての温かさを感じたのではないだろうか。

語学力の必要性を感じ、新たに見つけた夢や目標

さらに、多くの中高生大使が大きな違いを実感したことがある。ウェナッчиの人々が使っていた本場の英語は、簡略化されたりスラング（俗語）が入っていたりと、学校で学ぶ英語とは違っていた。優しく積極的に話しかけてくれるホストファミリーに英語を学びながら、何とか意思を伝えた大使たち。自分の英語力の弱さとともに語学力の必要性を深く感じた。

10日間の日程ではあったが、この使節団派遣は、特に中高生大使に大きな成長をもたらした。自分の弱点を克服した大使、将来に向けて明確な目標を持った大使、新たな夢を見つけた大使など、その思いはさまざまだが、この経験が将来、世界に羽ばたく若者たちにとって、かけがえのない財産となつたに違いない。

カスケード山脈の麓を流れるコロンビア川を、三沢市の姉妹都市であるウェナッчи市と東ウェナッчи市が挟むワシントン州ウェナッчиバレー。この地域は、温暖な気候と豊かな自然や水源に恵まれ、水力発電や果実・ワインの産地として知られている。1931年に三沢市淋代海岸から飛び立ったミス・ビードル号が世界初の太平洋無着陸横断飛行を成功させ、この地に胴体着陸したことをきっかけに、三沢市と両市は姉妹都市を締結。長年にわたり、さまざまな交流を続けてきた。

その中でも代表的なものが、それぞれの市を代表する使節団が毎年相互に訪問し合い、ホームステイをしながら施設見学やイベントに参加する姉妹都市友好親善使節団派遣。今回は、米田副市長を団長に、13人の中高生大使を含む総勢22人の使節団が、10月2日から10日間の日程でウェナッчиバレーを訪れた。

緊張と不安を和らげた温かい「おもてなし」

中高生大使の中には、初の海外旅行という生徒も多く、最初は不安や緊張を抱えていた。その心を解きほぐしたのは、雄大で美しいウェナッчиバレーの自然と、住む人々の温かさだった。見るもの、触れるもの全てが新鮮。大使たちはコロンビア川でのカヌーとセスナ機によるフライトを体験し、アメリカのスケールの大きさを肌で感じた。また、到着直後の歓迎セレモニーから現地最終日の送別会まで、ウェナッчиの人々は使節団を歓待。特に6日間宿泊したホストファミリーは、大使たちを本当の家族のように優しく温かく迎え入れ、別れのときには涙するほど心を通わせた。

- 1 コロンビア川が流れる自然豊かなウェナッчиバレー
- 2 ミス・ビードル号記念碑の前で記念撮影する使節団員
- 3 多くの人々が集まつた歓迎セレモニー
- 4 「翼と車輪の祭り」で三沢市賞を授与する米田副市長（左から1人目）
- 5 コロンビア川でカヌー体験
- 6 ウェナッчиバレー大学を見学する中高生大使
- 7 小学校で「折り紙」を教える中学生大使



三沢高校2年 新堂 恵美さん
 (これまで)英語を人前で話すことに消極的でしたが、積極的に話すことが多くなりました。将来の夢に対して、やりたいという気持ちが強くなった分、さらに頑張れるようになったことが一番の変化だと思いました。自分の語彙の少なさも痛感。これからもっと努力して、もう一度ウェナッчиに行きたいと思います。



堀口中学校3年 バレンビビアナさん
 この10日間の出来事や思い出は、私の将来に大きな夢を与えてくれました。それは、私の夢の一つである3番目の文化を自分の目で見て肌で感じ、言葉を交わせたからです。
 これからも、自分の夢、そして将来のため、いろいろなことにチャレンジしていきます。



第二中学校3年 原田 康多くん
 この体験を通じ、ウェナッчиの美しい景色と、人の温かさを感じました。ホストファミリーの方は優しく、本当の家族のように接してくれ、うれしかったです。
 今回のホームステイで、ウェナッчиの大学へ進学したいという気持ちが高まりました。この体験を生かし、さらなる向上を求め、日々努力していきます。



第一中学校3年 伊東 なつみさん
 初めての海外で、家族から離れた生活をして、現地の方や同行した仲間から多くのことを吸収してきました。
 私は、姉妹都市大使としてウェナッчиを訪問できたことを誇りに思います。将来は、ここで学んだことを發揮し、人のために進んで動けるような人になりたいと思います。



三沢高校2年 福田 未歩さん
 最も印象に残ったのはホストファミリーと過ごした時間です。本当の家族になれたようでした。
 日本との違いの多さに戸惑いましたが、そんな環境の中で過ごしたことでの価値観が変わり、視野も広がりました。消極的だった欠点を克服し、自分を表現・成長させることができた10日間でした。



第一中学校3年 沖津 快斗くん
 ホストファミリーが優しく親しんでくれて、とてもいい思い出になりました。今回の体験で感じたのは、英語が相手に通じると、とても気分がよくなるということです。外国語が話せることは自分にプラスになると思うので、これからは英語をもっと話せるようになりたいと思いました。



上久保小学校教諭 佐伯 仁さん
 1週間以上もの滞在期間中、快く我々に同行していただいたウェナッчиの方々に感謝しています。ウェナッчиの方々の心温かい「おもてなし」は、素晴らしいかったです。今回の経験から、やはりこのような人の交流や関わりが今後の人生に大きな影響を与え、自分を成長させてくれることを実感しました。



第一中学校3年 庄司 真基くん
 行く直前までは不安でいっぱいでしたが、ホストファミリーはいい人ばかりで、ウェナッчиの自然や学校、時差ボケも体験しました。姉妹都市派遣を体験し、さらに異国への興味が深まりました。今回の経験を通して、将来的目標が一つできました。機会があれば、ぜひ次も参加したいです。



三沢市文化協会 野々宮 重美さん
 ホストのカリットさんと2人で大きな風呂に入り、食事し、遅くまで話をしていた意気投合。お祭りやセスナ機でのフライトなどさまざまな体験をしました。この国の大きさ、おおらかさを感じ、いい経験をさせてもらいました。今後もできる限り参加・協力し、交流を通じて外国人を知りたいと思います。



堀口中学校3年 向川 翠さん
 ホストファミリーと生活する中で、自分の英語力の弱さに驚きました。全然聞き取れず、うまく発音できず、勉強の日々でもありました。将来、何になりたいかまだ分からぬけど、英語はどんな仕事でも使えるので、これからたくさん勉強していきます。こんなにいい思い出ができるなんて、思っていませんでした。



第二中学校3年 福田 将大くん
 食文化と学校生活に日米の違いを感じ、本場の英語を聞くことができて、とても勉強になりました。
 相手に自分の気持ちを英語で確実に伝えることができず悔しかったです。英語力の未熟さを痛感しました。もっと勉強し、表現力や英語力に自信をつけるためにも、またウェナッчиに行きたいです。



第一中学校3年 馬場 紫温くん
 歴史や文化の違いなどをたくさん吸収するという目標を持って行ったウェナッчиは、見るもの全てが新鮮でした。ホストファミリーとうまく会話できなかった場面もあり、遠慮せず積極的に聞き返すことが大事と学びました。学んだたくさんのことを心に刻み、これから的人生に役立てたいと思いました。



青森大学2年 宮野 結さん
 ホストファミリーはもちろん、現地で出会ったたちは本当にいい人ばかりで、すごく愛を感じました。ウェナッчиでの充実した日々の中で、今の私の英語力を最大限発揮でき、同時に今まででは全然足りないということを学ぶことが出来ました。本当に、書ききれないほどの思い出と想いでいっぱいです。



三本木高校3年 郡司 瑛美さん
 アメリカの自然の雄大さや明るい国民性に惹かれて同時に、改めて日本の良さを実感しました。それぞれの良さを実感したこと、日本と世界をつなぐ架け橋になりたいと強く思います。
 春からウェナッчиバレー・カレッジに進学するので、自分の新たな夢の実現に向けて、そこで人一倍努力するつもりです。



第二中学校3年 矢幡 塔也くん
 ウェナッчиの方々と交流し、友好関係を築くことができました。また、日本と異なる文化に触れ、日本では学べないことを多くの人から教えていただき、自分の世界観が変わりました。この経験を生かし、将来は世界で活躍できる職業に就きたいと考えています。そのため、英語の勉強を頑張ろうと思います。



第一中学校3年 山本 玲奈さん
 (ホストファミリーに)最も感動したことは、「ありがとう」という言葉の多さと、自分の意見をしっかりと持ち、率先して行動していたことです。ホームステイを通して自分の国の文化を知ることの大切さを感じ、自分を見つめ直すことができました。また、英語だけでなく、自身の考えも成長させてくれました。

三沢市功労者

受賞者を
表彰しました



10月31日、公会堂小ホールで『第45回三沢市功労者・第42回三沢市文化賞等表彰式』が行われました。

福祉向上や地域・行政への寄与など、さまざまな活動を通じて市政に貢献された方に贈られる『三沢市功労表彰』と、市の文化振興・発展に寄与された方に贈られる『三沢市文化賞』、『三沢市文化功労賞』、『三沢市文化奨励賞』。今年度は、合計9人の方が受賞され、種市市長と熊野教育委員長から表彰状などが手渡されました。

種市市長は式辞の中で、受賞者を祝福するとともに、その多大な尽力に対し深く感謝。最後に、受賞者を代表して功労表彰受賞者の横田和義氏が「受賞はじめに努力することが、皆さまのご厚情に応える道。変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます」と謝辞述べました。

第45回 三沢市功労表彰受賞者

第42回 三沢市文化賞受賞者

佐々木 雄夫 氏 (73歳／栄町)



中学生から書道の研鑽に精励。昭和59年には清友会を設立し、現在は日本教育書道会清友支部長として指導にあたる。また、各種大会に出品・受賞する一方、小学校においてボランティアで書写を指導するなど、書道の普及発展に貢献。

坂上 勝行 氏 (73歳／塩釜)

第42回 三沢市文化奨励賞受賞者

A black and white portrait of Nakano Miko, a woman with short dark hair, wearing a light-colored cardigan over a dark top. She is looking slightly to her left with a gentle expression.

中野米子 氏（65歳／宇都口）

平成10年にカラオケ指導協会の教授認定を受け、翌年に中野カラオケ教室を開設。カラオケを通して多方面で活動し、音楽文化の普及発展に尽力する。また、各種イベントに協力し、生きがいづくりの観点からも期待される存在。



(参)市民全体で参加できる健康づくり事業を、行政主体で実施していただきたいです。

参40歳を過ぎて高齢になるまで、途切れない歯科保健事業を展開していただきたいです。

申病死も人口減少につながります。よく掘り下げて考えなければいけないことが分かりました。
参人は土地が安い場所に移っています。また、公共機関が開発した宅地は民間に比べ、恒久的に安全な状態を保つていけるのでは。（宅地造成の）長期的な作戦と場を作つてほしいです。

申定住化の要因・条件には、宅地造成も大きな比重を占めると思います。前平周辺の南二ユー

となるのが教育です。教育にはお金がかかると思いますが、教員の数を単純に減らすのではなく、手厚くいろいろなことを考えていただきたいです。

その他にも、「婚活事業」や「市町村合併」、「職場環境・条件の改善やPR」、「空き家となつている土地の有効利用」、「超長期的な都市計画づくり」などについて、提案や意見がありました。

最後に種市市長は参加者へ、「専門家の皆さんから、貴重なご提言を賜りました。精査しながら、今後の市政運営に役立たい」と話し、感謝とともにさらなる協力を求めました。

10月29日、市役所で「市長と語ろう住民懇談会」が開催されました。この懇談会は、三沢市を「住んでよかつた」と思えるまちにするために、地域住民と行政が語り合い、今後の市政運営に反映させることを目的として開催するものです。今回は、「人口減少社会とこれから三沢市」をテーマに、市内在住・在勤の各種分野で働く専門職14人が参加。種市市長を囲み、それぞれの専門的視点から意見・提案を挙げ、話し合いました。

懇談会の中で参加者から挙げられた意見や提案の概略は、以下のとおりです。

市では現在、リフォームや新築に対する助成を行っており、子ども3人以上の家庭にお米を提供する「わんぱく米事業」も好評を得ています。しかし、若者をどう集め、子育て環境を整えるかは大きな課題。若者に特化した対策も考えれば、よりよいのではと感じています。

【参】住んでもらいためには、職場を作ることが大事です。市でも何か打開策があれば、頑張っていただきたいです。

【参】駅や空港に、観光施設への行き方などインフォメーションを整備してはいかがでしょうか。

タウンは、もう完売に近い。現在模索中の第二の「ニュータウン」を早期に進め、定住の手助けをしたいと思っています。

参雇用促進や、企業の一部を誘致する、大きな政策も必要だと思います。

市企業を誘致するなどして、三沢には働く場所は結構あるのですが、市内からの応募が少ない。昼に比べて夜の人口は少なく、どうしても定住化対策が必要です。原因を追究して、よい方向に持つていきたい。また、特色ある企業の創出と地域産業の発展を考えており、近いうちに具現化したいと思います。

参子どもがある程度大きくなる

顧問として地域住民の福祉向上などに力を尽くし、市政発展へ貢献。

えいじろう

澤村 榮治郎 氏 (67歳／前平)

はやと 浄法寺勇杜さんが全国障害者スポーツ大会への出場および成績を報告

11月10日

11月1日から3日間にわたり長崎県で全国障害者スポーツ大会が開催され、三沢市からは唯一、浄法寺勇杜さん（20歳）が陸上競技（少年の部）ソフトボール投げ種目に出場。この日、勇杜さんは両親と共に市長室を訪れ、種市市長に報告しました。

2歳のときに心肺停止状態に陥り、一命を取り留めたものの重度の知的障害を持つこととなった勇杜さん。小さな頃から体が丈夫で、小中学校では野球チームに所属。七戸養護学校に通いながら障害者スポーツを始め、昨年初出場した青森県障害者スポーツ大会のソフトボール投げ種目で優勝。全国大会出場の切符をつかみ、今回62.01メートルの記録で5位の成績を収めました。勇杜さんは足も速く、今大会では100メートル走にも出場。「来年はメダルを獲りたい」と意欲を見せっていました。



市消防本部初の応急手当普及員が誕生！

11月10日

消防機関による応急処置技能の普及を支援し、救命講習を教授する応急手当普及員。市消防本部では、9月から10月にわたり1日8時間の講習を3回実施。その全てを受講した5人が、市消防本部初の応急手当普及員に認定されました。

11月10日、市消防本部で行われた認定証交付式には、キング美雪さん、三好尚子さん、野中貴陽子さんの3人が出席し、葛西消防長から認定証を授与。応急手当普及員は今後、普通救命講習の指導や市消防本部が実施する講習会のサポートを行うことです。3人は「スキルアップを重ね、指導者を目指したい」「市民が救命するという認識を高めることで(患者さんが)少しでも早く社会復帰できるように貢献したい」「一般市民にもできることがある、救える命があることを知ってほしい」と話し、活動への意欲を高めていました。



▶ 前列左からキング美雪さん、三好尚子さん、野中貴陽子さん

三沢市初開催の青森県考古学会秋季大会で野口貝塚調査の成果や課題を発表

11月8日

三沢市では初めての青森県考古学会秋季大会が、公会堂を会場に開催され、県内考古学関係者や遺跡発掘に興味・関心を持つ人など約40人が参加しました。最初に、元文化庁記念物課主任調査官の岡村道雄氏が「近年の貝塚研究の動向と課題」と題して講演。三沢市の野口貝塚にも触れ、「早くから安定した定住方法を確立し、多くの貝塚を残す重要な遺跡」と全国の中でも貴重な貝塚遺跡であることを示しました。続いて、最前線で活躍する県内各地の研究者が調査事例を発表。三沢市からは市生涯学習課の長尾正義氏が、市内に17カ所ある貝塚の特徴や縄文海進との地形的関係を解説。同課の工藤司氏は、野口貝塚遺跡の概要や発掘調査の経緯と進行状況、これまでにわかつたこと、今後の課題などを発表しました。



『消防のつどい』で長年にわたる消防団活動への尽力や支援、協力に感謝

11月9日

総合体育館で『三沢市消防のつどい』が開催され、市内の消防団・全17分団と来賓など約500人が参加。勤続30年の優良消防団員、団員の活動を支えた家族、そして積極的に消防団活動を行う団員の勤務する事業所へ種市市長から感謝状が贈られました。



AEDマップを作成しました

市消防本部では、市内に設置されているAED（自動体外式除細動器）の地図を作成し、市ホームページに掲載しました。ぜひ、ご覧ください。
ホームページ>医療・消防・防災・防犯>消防・救急>AEDマップ
問い合わせ先 消防署救急係（☎ 54-4212 内線 218）



三沢駅駐輪場で今年最後のツーロック指導

10月22日

管内20町内会が主体となり、市や三沢警察署、三沢市防犯協会古間木支部ほか学校と協力しながら、さまざまな防犯活動を続ける古間木駐在所連絡協議会。自転車盗難が多発していた三沢駅駐輪場では、4月から10月まで毎月1回、無料でワイヤーロックを配りながら、前後車輪の施錠を呼び掛ける『ツーロック』指導を長年にわたり継続しています。この日、今年最後の活動を終えたメンバーは、「また来春」と声を掛け合いました。



伊沢唯さんが船越義珍杯少年世界空手道選手権大会3位入賞を報告

10月29日

三沢市空手協会の伊沢唯さん（岡三沢小4年）が、10月17日に日本武道館で開催された『船越義珍杯 第13回少年世界空手道選手権大会』10歳女子組手の部へ、日本代表選手として出場。初戦ではスコットランドの選手と対戦し、外国人選手特有的のステップや体格差に戸惑いながらも勝利を収め、準決勝へと進出しました。黒帯の有段者が並ぶベスト4選手の中で、伊沢さんは最も体格が小さく唯一の茶帯（3級）。それでも体の大きな選手たちに果敢に挑み、惜しくも準決勝で敗れたものの、3位入賞を果たしました。

少年の空手道世界選手権大会への出場および入賞は、市初の快挙。伊沢さんは、準決勝で対戦した日本人選手に現在2連敗中のことで、「次は勝ちたい」と目標を語っていました。



小原流上十三支部が芸術文化振興のため寄付

10月23日

盛花を基本に、現代空間にふさわしい『いけばな』を生み出す小原流。全国148支部の一つ、約130人が加入する上十三支部は、同地域を中心に『いけばな』の普及発展に尽力し続け、

今年で支部創立40周年を迎えました。この日、同支部の栗澤ほうよう鳳洋支部長らが市役所を訪問。「地域の芸術文化振興のためにお役立てください」と、吉田教育長へ寄付金10万円を手渡しました。



三沢木崎野ライオンズクラブが創立25周年を記念して市に寄付

10月20日

『友愛と寛容』の精神で地域に密着した社会奉仕活動を行う三沢木崎野ライオンズクラブは、今年で創立25周年。記念事業の一つとして、チャリティー活動などで積み立てた基金から市に30万円を寄付しました。



市長室を訪れた同団体の金渕誠会長は、「青少年の英語などの教育に役立てていただきたい」と願いを込め、種市市長に目録を手渡しました。

交通安全母の会が南町地区で広報啓発活動

10月22日

市内でさまざまな交通安全の広報啓発活動を行う三沢市交通安全母の会は、「子どもからお年寄りまで、誰もが交通事故に気を付けてほしい」と毎年、区域を定めて町内を毎戸訪問。



民と直接顔を合わせ、言葉を交わしながら交通事故防止を呼び掛けています。今回は、南町地区を対象に同会の会員8人と町内会、三沢警察署と市の職員が参加。道行く人にもパンフレットを手渡し、PRしました。

おいらせ農協酪農部が青森県乳用牛共進会での多数受賞を報告

10月23日

おいらせ農業協同組合酪農部は、9月6日に七戸町で開催された第11回青森県乳用牛共進会へ12頭を出品。経産・未経産や年齢によって分けられた8部類のうち、6部類で最高位のチャンピオン賞を受賞し、12頭全てが入賞しました。また、千葉準一さんの経産牛と馬場新音さんの未経産牛が、チャンピオン賞の中から選ばれる準最高位リザーブグランプリチャンピオン賞に選ばれ、さらに千葉さんの別の経産牛は最高位の農林水産大臣賞およびグランプリチャンピオン賞を受賞。総合得点でわずかに及ばず団体優勝こそ逃したものの、輝かしい成績を残しました。

10月23日、おいらせ農業協同組合酪農部の高橋健仁部会長はじめメンバー5人と、同組合の北澤農部長らが市役所を訪問。報告を受けた種市市長は、祝福と称賛の言葉を送りました。



新制度 2 保育料の算定方法が変わります

これまでの保育料は、保育所などでは保護者の所得税を基に市が算定、幼稚園などでは各園で決定していました。

新制度の保育料は、保育所や幼稚園等の利用先の違いに関わらず、国が定める基準を踏まえ、市民税を基に市が算定します（所得割）。詳しくは、決まり次第お知らせします。

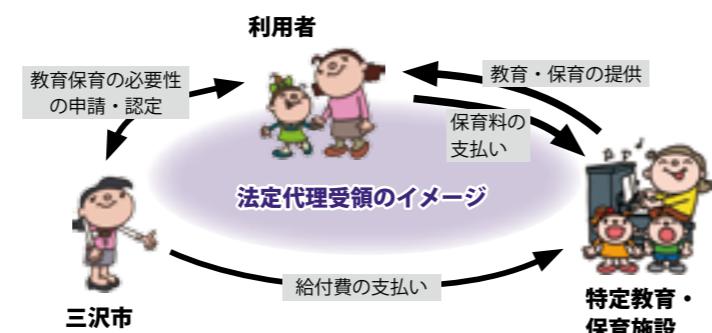
なお、新制度へ移行しない幼稚園については、従来どおり各園で保育料を決定します。



新制度 3 給付制度が導入されます

新制度に基づく認定こども園、幼稚園、保育所などの施設を利用する場合、保護者には保育料を支払っていただきますが、これに対し国・県・市も施設等が教育・保育を提供するために必要な経費の全部または一部を支払います。

なお、この給付費は、国・県の負担分も含めて、市から利用施設に直接支払うことができます。これを「法定代理受領」といいます。



支給認定・施設利用の受付を開始します

子ども子育て支援新制度に基づき運営する施設



認定こども園

三沢第一幼稚園
美野原 2-12-19 ☎ 53-6747

支給認定受付 12月1日（月）～

施設利用受付 12月1日（月）～（支給認定後、随時）

留意事項

▶施設の利用を希望する場合、必ず支給認定証が必要です。先に認定の申請をお願いします。

▶保育所を利用する場合、下記の「保育を必要とする事由」に該当することが必要です。

就労／妊娠・出産／保護者の疾病・障害／同居または長期入院等している親族の介護・看護／災害復旧／求職活動／就学／虐待やDVのおそれがある／育児休業取得時、既に保育を利用している子どもがいて、継続利用が必要／その他



保育所

既に施設を利用しているお子さんは、現在の利用施設に直接お申し込みください。

新制度に基づかずこれまで同様に運営する施設



幼稚園

入園の申し込みは各園で直接、受け付けます。
詳細についても各園にお問い合わせください。

いちい幼稚園

春日台 2-154-71 ☎ 53-7941

三沢カトリック幼稚園

中央町 4-3-12 ☎ 53-2312

松園幼稚園

松園町 2-21-1 ☎ 51-1888



子ども・子育て支援新制度に関するお問い合わせ先

家庭福祉課 児童係 (☎ 51-8772)

子ども・子育て支援新制度がスタートします



子ども・子育て支援新制度って何ですか？

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指して、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立しました。

この法律に基づいて、少子化や子育てをめぐる課題を改善し、総合的に支援を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が来年4月から全国でスタートします。



新制度になって何が変わるの？



1 ご利用の手続きが変わります



新制度では、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設を利用する場合、これまでの利用の手続きとは別に、「保育の必要性」の支給認定手続きが必要となります。認定の種類は、1号から3号まであります。お子さんの年齢や保護者の就労状況、家庭状況から、市が保育の必要性を判断して「認定証」を発行します。

この認定区分によって、利用できる施設が異なります。まずは、認定を受けましょう。

①支給認定の種類

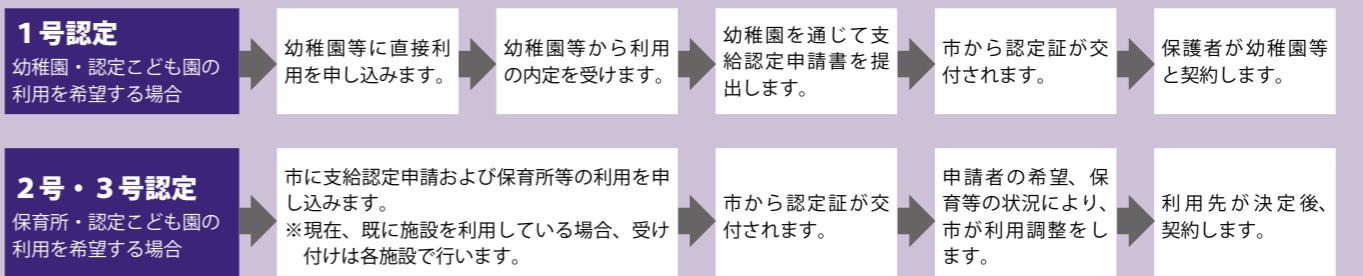
区分	対象	利用できる主な施設等
1号認定	満3歳以上の就学前教育の子ども（2号認定を除く）	幼稚園 認定こども園
2号認定	満3歳以上で、保護者の就労や疾病などにより保育を必要とする子ども	保育所 認定こども園
3号認定	満3歳未満で、保護者の就労や疾病などにより保育を必要とする子ども	保育所 認定こども園 地域型保育（小規模保育）

②保育の必要量に応じた区分

2号認定または3号認定を受ける方は、保護者の就労時間によって保育の必要量が認められ、次のいずれかの区分により保育を受ける時間が決まります。

区分	対象	1日に保育を利用できる時間
保育標準時間	1ヶ月の就労時間が120時間以上（フルタイム就労等を想定）	最長11時間
保育短時間	1ヶ月の就労時間が48時間以上120時間未満	最長8時間

利用手続きの流れ



※現在、保育所・認定こども園を利用しているお子さんは、支給認定を受ける必要がありますので、利用している施設から手続きをご案内します。また、保育所・認定こども園を利用していない方で、平成27年3月末までに満3歳となるお子さんがいるご家庭には、個別に郵送で手続きをご案内します。

一時借入金の状況

年度内に現金が不足した場合に、一時的に借り入れるお金です。
9月30日現在の一時借入金は0円です。

市債残高の状況

市債（長期借入金）は、将来にわたって皆さんを利用的道路や公園、学校などを整備するときに国などから借り入れるお金です。

区分	金額
一般会計	154億6,481万円
特食肉処理センター	25億7,968万円
別農業集落排水	25億9,703万円
下水道	110億8,999万円
上水道	21億6,081万円
病院	52億5,883万円
計小計	236億8,634万円
市債残高合計	391億5,115万円

1人あたり
94万4,106円
1世帯あたり
208万737円

一般会計・特別会計の財産

区分	公有財産		有価証券
	土地	建物	
一般会計	6,650,755m ²	227,193m ²	1億2,090万円
特食肉処理センター	80,000m ²	9,413m ²	—
別農業集落排水	6,275m ²	1,362m ²	—
計下水道	55,860m ²	5,718m ²	—

企業会計

独立採算制を原則とする水道料金
や診療収入で運営する会計です。

水道

収益的収支	
収入予算現額	8億4,709万円
収入済額	2億9,962万円
支出予算現額	9億7,295万円
支出済額	3億2,036万円
資本的収支	
収入予算現額	1億9,460万円
収入済額	0円
支出予算現額	5億6,878万円
支出済額	5,460万円

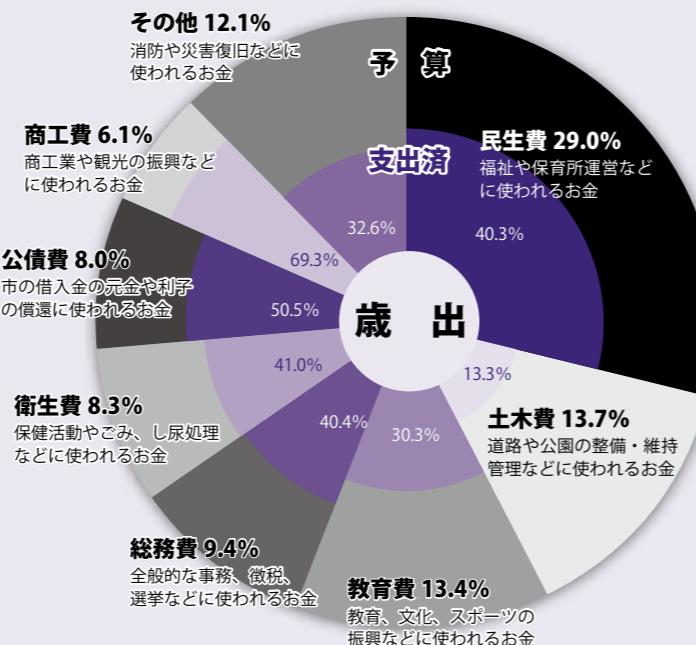
病院

収益的収支	
収入予算現額	53億5,289万円
収入済額	27億3,399万円
支出予算現額	68億4,040万円
支出済額	36億1,781万円
資本的収支	
収入予算現額	9億6,763万円
収入済額	1億300万円
支出予算現額	11億6万円
支出済額	2億4,916万円

収益的収入=経営活動によって発生する収益（水道料金、診療報酬など）
収益的支出=経営活動を行うための費用（維持管理費、人件費など）
資本的収入=施設整備を行うための財源（国庫補助金、借入金など）
資本的支出=施設整備を行うための支出（建設事業費など）

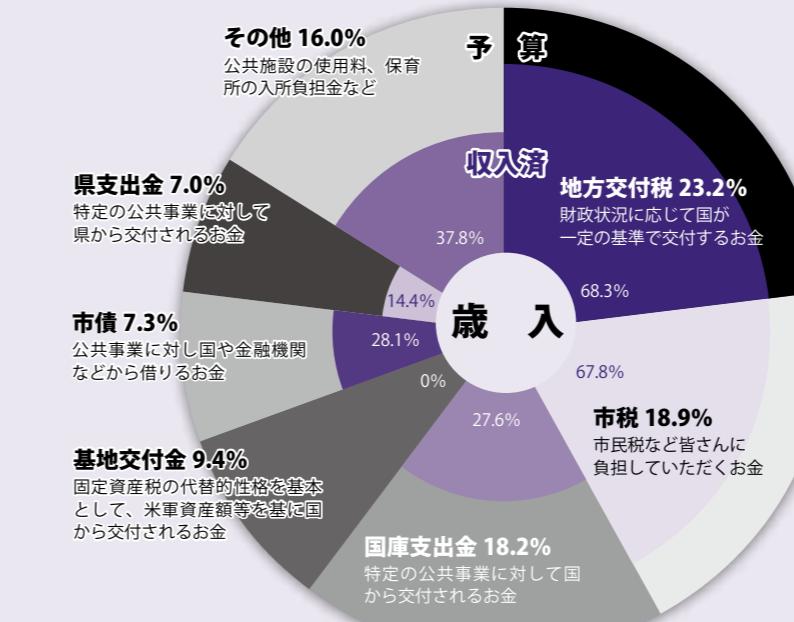
一般会計

三沢市の行政経営のための基本的経費が計上される会計です。



財政状況をお知らせします

平成26年度の三沢市各会計予算の9月30日現在の執行状況、財産・長期借入金の状況をお知らせします。



歳入・歳出の予算現額（※）は
218億8,562万円 です。

平成26年9月30日現在の三沢市の人口は41,469人、18,816世帯です。

皆さんに負担していただく税金は
市全体 41億4,068万円
1人あたり 9万9,850円
1世帯あたり 22万62円となります。
教育や道路整備、福祉の向上などに支出される金額は
市全体 218億8,562万円
1人あたり 52万7,759円
1世帯あたり 116万3,139円となります。

※予算現額=当初予算、補正予算、繰越予算の合計
で、その年度に執行する全ての事業の
もととなる予算の全体額

特別会計

特定の収入で特定の事業を運営する収支経理を用いた会計です。



国民健康保険

市内養豚生産者を中心、県内外から出荷された豚をと畜し、食肉処理を行っています。

予算	41億9,879万円
収入済	15億3,860万円
支出済	19億2,083万円

食肉処理センター

農村の生活環境の改善を図り、公共用水域の水質保全のため汚水や污泥などを処理する事業を行っています。

予算	10億9,034万円
収入済	5億11万円
支出済	6億2,256万円

農業集落排水

公共用水域の汚濁防止と市街地の浸水・滞水を防止するための事業を行っています。

予算	2億2,211万円
収入済	2,414万円
支出済	1億307万円

下水道

介護保険制度に基づく、介護保険料賦課徴収および介護認定、介護サービス給付などの事業を行っています。

予算	16億8,212万円
収入済	2億4,422万円
支出済	6億4,100万円

介護保険

後期高齢者医療の保険料を青森県後期高齢者医療広域連合に納付しています。

予算	3億6,060万円
収入済	1億3,720万円
支出済	1億4,599万円

後期高齢者医療

後期高齢者医療の保険料を青森県後期高齢者医療広域連合に納付しています。

予算	3億6,060万円
収入済	1億3,720万円
支出済	1億4,599万円

除雪作業にご協力ください

土木課（内線 285・286・287・289・540）

除雪は、冬期間の通勤、通学などの交通を円滑にするほか、火災時の消火活動やごみ収集など、皆さんの日常生活に欠かすことのできない重要な作業です。

除雪をスムーズに進めるには、地域の皆さんのご協力が必要です。次の事について、ご協力を願います。



1. 道路に雪を捨てないでください

除雪車で寄せた雪を道路の中央部に返したり、各家庭の雪を道路に押し出したりしないでください。

2. 路上駐車をしないでください

1台の路上駐車のため、除雪作業車が除雪路線へ進入できず、作業ができないことがあります。沿線の方々に迷惑が掛かるので、ご協力を願います。

3. 出入口の除排雪にご協力を

除雪作業車により、堆積した雪が玄関先などをふさぐことが多いと思います。申し訳ありませんが、ふさいだ雪は各家庭で片付けるようお願いします。

4. 樹木の枝払いをしてください

除雪作業車は車高が高く、路上に張り出した樹木などが作業の障害になります。また、樹木などから雪が落ちると、通行車両の障害または歩行者にけがを負わせる場合もあります。私有地から張り出している樹木などの処理に、ご協力を願います。

5. 路肩にある私有物に目印を

私道などに私有物を置いている場合があります。除雪車から確認できないことがありますので、棒などでしっかりと目印を付けてください。できるだけ路面上に物を置かない、はみ出さないようお願いします。

6. 除雪作業車には近寄らない

除雪作業車中は 30m 以内に近寄らないでください。

7. 貸家敷地内の除雪は行いません

除雪作業は、基本的に道路除雪を行います。貸家敷地内の除雪は行っていません。貸家敷地内の除雪に関しては、その管理者へお問い合わせください。

※大雪の場合の除雪作業は、幹線道路が優先となります。その他の道路については遅れることができます。

「災害に強いまちづくり市民提案事業」を募集します

防災管理課（内線 252）

今年度は既に6団体が事業を実施しています

対象団体 町内会、自主防災組織など

対象事業 災害に強いまちづくりを目的として新たに取り組む事業、または既に取り組んでいる活動を拡充して実施する事業



例えば、資格取得、研修会、防災マニュアル・マップの作成、災害の記録集・伝承板作成など

補助金額 事業にかかった経費（上限 20 万円）

応募方法 各町内会および自主防災会に配布、または市ホームページに掲載する応募の手引きをよくご覧になり、必要書類を提出してください。

※詳しくは、お問い合わせください。

応募・問い合わせ先 防災管理課（内線 252）

家屋を取り壊した方は 「家屋滅失届」を忘れずに

税務課（内線 166）

平成 26 年の 1 月から 12 月までに家屋を取り壊した方は、「家屋滅失届」を提出してください。滅失届で取り壊しの手続きをすると、その分の固定資産税は翌年から課税されませんので、お早目の提出をお願いします。

様式は税務課窓口で配布するほか、市ホームページ（「住民向け申請書一覧」→「税金」）からも印刷できます。

提出先 税務課資産税係
(7 番窓口)



※登記をしている家屋は、法務局で滅失登記の手続きをしてください。
その場合は、市への家屋滅失届の提出は不要です。

平成 25 年度決算の状況をお知らせします

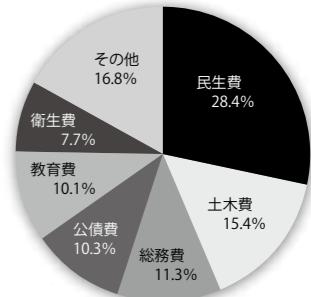
一般会計

歳入

内 訳	金 額
地方交付税	56 億 8,830 万円
国庫支出金	43 億 3,461 万円
市 税	38 億 1,006 万円
基地交付金	20 億 5,265 万円
県 支 出 金	17 億 7,685 万円
市 債	9 億 8,820 万円
そ の 他	25 億 3,777 万円
合 计	211 億 8,844 万円

歳出

内 訳	金 額
民 生 費	58 億 5,900 万円
土 木 費	31 億 7,584 万円
総 務 費	23 億 3,896 万円
公 債 費	21 億 2,908 万円
教 育 費	20 億 7,394 万円
衛 生 費	15 億 8,928 万円
そ の 他	34 億 5,436 万円
合 计	206 億 2,046 万円

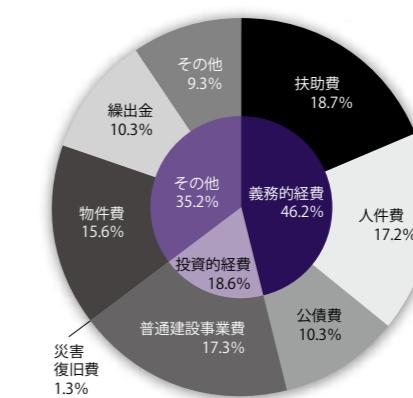


一般会計は、歳入が前年度比 9.5% 減の 211 億 8,844 万円、歳出が 10.0% 減の 206 億 2,046 万円となり、平成 26 年度に繰り越す事業の財源 1 億 4,681 万円を除いた実質収支は 4 億 2,117 万円の黒字となりました。

黒字額の約半分の 2 億 1,100 万円は基金（貯金）として積み立てられ、残りは、平成 26 年度へ一般財源として繰り越されます。

歳出性質別内訳

内 訳	金 額
扶 助 費	38 億 5,694 万円
人 件 費	35 億 3,178 万円
公 債 費	21 億 2,905 万円
計	95 億 1,777 万円
普通建設事業費	35 億 6,654 万円
災 害 復 旧 費	2 億 7,255 万円
計	38 億 3,909 万円
物 件 費	32 億 2,642 万円
縫 出 金	21 億 2,648 万円
そ の 他	19 億 1,070 万円
計	72 億 6,360 万円
合 計	206 億 2,046 万円

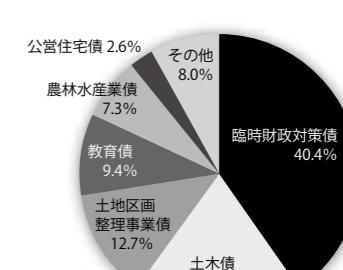


特別会計

区 分	歳 入	歳 出
國 民 健 康 保 険	42 億 4,564 万円	43 億 512 万円
食 肉 处 理 セ ン タ ー	24 億 8,757 万円	24 億 670 万円
農 業 集 落 排 水	2 億 1,601 万円	2 億 660 万円
下 水 道	22 億 7,446 万円	22 億 3,024 万円
介 護 保 険	34 億 7,248 万円	33 億 3,476 万円
後 期 高 齢 者 医 療	3 億 5,265 万円	3 億 4,691 万円

企業会計

区 分	收 入	支 出
水 道	収益的 6 億 4,632 万円	5 億 7,929 万円
病 院	資本的 3 億 4,563 万円	5 億 6,756 万円
	収益的 48 億 2,258 万円	50 億 9,465 万円
	資本的 5 億 6,834 万円	6 億 4,798 万円



一般会計・特別会計の財産

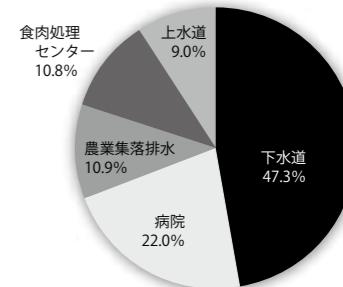
区 分	公有財産		有価証券
	土 地	建 物	
一 般 会 計	6,651,292m ²	227,193m ²	1 億 2,090 万円
特 別 会 計	80,000m ²	9,413m ²	—
農 業 集 落 排 水	6,275m ²	1,362m ²	—
下 水 道	55,860m ²	5,718m ²	—

基金現在高

内 訳	金 額
減 債 基 金	14 億 6,540 万円
財政調整基金	21 億 3,045 万円
公共施設等整備基金	11 億 2,558 万円
そ の 他	24 億 4,748 万円
合 計	71 億 6,891 万円

特別・企業会計

内 訳	金 額
下 水 道	114 億 3,182 万円
病 院	53 億 2,482 万円
農 業 集 落 排 水	26 億 4,155 万円
食 肉 处 理 セ ン タ ー	25 億 9,941 万円
上 水 道	21 億 8,211 万円
合 計	241 億 7,971 万円



何か寒くなってきたなと感じていたら、もう師走です。忙しくさせていただきたい年が経つてしまおうとしており、それだけ充実した年であったのかとも思っています。

今年はソチオリンピックやサッカーワールドカップ（結果は残念でした）で盛り上がり、日本人のノーベル賞受賞に歓喜しました。また、御嶽山の噴火や広島の土砂災害など、さまざまなものもありました。

三沢のまちの1年を振り返ると、スポーツ・文化の両面で活躍された個人と団体が数多くあり、うれしい報告にいつも顔がほころんでいました。これらの活躍には、本人の頑張りはもちろん、良い指導者と環境があつてのことですので、うれしい限りです。

何か寒くなってきたなと感じていたら、もう師走です。忙しくさせていただきたい年が経つてしまおうとしており、それだけ充実した年であったのかとも思っています。

今年はソチオリンピックやサッカーワールドカップ（結果は残念でした）で盛り上がり、日本人のノーベル賞受賞に歓喜しました。

羊を駆りて猛虎を攻む」の羊を駆りて猛虎を攻む」の事でした。

このような素晴らしい環境がたくさんあることが、主婦が幸せに暮らせる街

先月に三沢漁港が復旧完了できることも大変喜ばしく、ホッキーガイの登場やさまざまな地産地消の取り組みなど、市民の皆さん

それぞれに力を合わせ、まちづくりに取り組んでいた

いたことも印象深い出来

事でした。

冬は何といっても水道の凍結が心配。点検・整備を忘れずに、凍結事故から水道を守りましょう！

三沢市長 種市一正

庁舎パネル広告事業者を募集します

管財課（内線 395）

市有財産の有効活用を図るため、市庁舎本館1階壁面にパネル広告を掲出する事業者を募集します。

設置場所 市民課窓口上部壁面など3カ所

実施期間 平成27年4月1日から

平成30年3月31日までの3カ年

募集内容 パネル広告の企画制作、管理など

選定方法 提出された応募書類により審査を行い、最も評価の高い事業者を選定します。

応募締切 12月19日（金）

※詳しくは、市ホームページをご覧いただけます。

応募・問い合わせ先 管財課（内線395）



相続税が改正されます

税務課（内線161）

相続等によって取得した財産にかかる相続税が改正され、平成27年1月1日以降、「遺産にかかる基礎控除額」が引き下げられます。

改正前 5,000万円+（1,000万円×法定相続人の数）

改正後 3,000万円+（600万円×法定相続人の数）

上記の基礎控除額を超えるときは、その財産を取得した日から10カ月以内に相続税の申告と納税をする必要があります。

問い合わせ先 十和田税務署個人課税第一部

（☎ 0176-23-3151 音声案内「2」番）

12月1日から児童扶養手当法の一部が改正されます

家庭福祉課（☎ 51-8772）

年金額が児童扶養手当額より低い方は、

その差額分を受給できるようになります

これまで、公的年金を受給する方は児童扶養手当を受給できませんでしたが、児童扶養手当法の一部改正により平成26年12月以降、年金額が児童扶養手当額より低い方は、その差額分の児童扶養手当を受給できます。

児童扶養手当を受給するためには、申請が必要です。詳しくは、市ホームページをご覧いただくか、家庭福祉課（☎ 51-8772）へお問い合わせください。



水道の冬仕度はお済みですか？



冬は何といっても水道の凍結が心配。点検・整備を忘れずに、凍結事故から水道を守りましょう！

凍結を防ぐには？

- ▶ 水道管や蛇口に布切れや毛布、専用の保温材などを被せ、上から濡れないようにビニールテープを隙間なく巻きましょう。
- ▶ 濡れないようビニール袋に入れた布きれなどの保温材を、水道メーターボックス内に詰めましょう。
- ▶ 水抜き栓や不凍水栓を使用している家庭で、就寝前や留守にするときは、忘れて水抜きをしましょう。



三沢市指定給水装置工事事業者

(有)第一水道	☎ 53-6234	久保田設備	☎ 57-3623	有村中水道設備	☎ 72-2652
(有)若松工業所	☎ 53-3827	(有)吉田設備	☎ 55-2516	(株)アキラ工業	☎ 0175-74-3178
北日本管工業(株)三沢支店	☎ 53-2238	下田水道設備	☎ 55-3235	川尻商会	☎ 55-3918
(有)田中水道工業所	☎ 53-5953	(有)三沢管工事	☎ 50-7207	三旺調機(株)	☎ 0178-27-2911
(有)共同設備工業	☎ 54-4722	(株)三久工業	☎ 0178-27-6333	(株)オキタ工業三沢支店	☎ 53-8478
(有)宮古設備工業	☎ 57-2477	中沢水道設備工業(株)	☎ 22-3695	有山村電水	☎ 0175-64-4805
東陽工業(株)三沢支店	☎ 53-3914	(株)三浦設備工業	☎ 23-5398	中由設備	☎ 72-2935
(有)丸勝工業	☎ 58-7061	(有)浪岡設備工業所	☎ 0178-43-3024	赤平設備工業(株)	☎ 017-739-5825
(有)西館設備工業	☎ 57-4355	(有)栄清工業	☎ 0178-35-4830	(株)南部システム	☎ 0178-28-8040
(有)小野寺水道設備工業	☎ 55-4789	(有)八戸水洗サービス	☎ 0178-43-5155	県南設備工業	☎ 22-6204
アケア設備(株)	☎ 0178-72-1500	(有)不二興管工業(株)	☎ 0178-56-3231	明水冷暖設備工業	☎ 27-2510
三沢水道設備工業	☎ 52-3713	(有)大栄設備	☎ 52-5259	カシマ興業	☎ 017-766-8899
(有)中野設備	☎ 54-2024	(株)葵工業	☎ 0178-52-2688	リプラス	☎ 0178-38-9373
(有)明堂設備工業所	☎ 0178-34-1188	山樹産業(株)	☎ 017-77-9333	米内口建設	☎ 0178-20-6005
東北水道設備工業(株)十和田営業所	☎ 23-1042	(有)赤坂推建工業	☎ 24-2147	クラシアン青森	☎ 017-788-9181
桜田設備工業(株)	☎ 23-3889	(有)北桜水道建設	☎ 0178-82-2106	友住技研工業(株)	☎ 0178-80-7535
十和田水道設備(株)	☎ 23-0002	友住設備工業(株)	☎ 23-1748	(有)中村建設	☎ 53-2026
西浦水道建設工業(株)	☎ 0178-22-5167	(株)テクノワーク	☎ 0178-23-5400	(株)東青設備工業	☎ 017-755-5553
(有)三共設備工業	☎ 56-5307	(株)上坂水道工業	☎ 23-1205	大嶋でんき	☎ 57-2875
(有)日研設備	☎ 55-4752	(有)姥名水道	☎ 56-2321	小倉電気(有)	☎ 56-2378
(株)平設備	☎ 0178-30-1092	(有)赤坂システム	☎ 0178-27-4255		
(有)豊水興業	☎ 0178-44-6954	(有)松本水道	☎ 0178-52-2375		

ご長寿をお祝いします

介護福祉課（内線 382）

市から 70 歳以上の方に長寿祝金を支給します。対象の方には、はがきで通知しますので、下記日程の日時・場所に、はがきと受給者本人の印鑑（シャチハタは不可）を持参してください。本人以外が受け取る場合は、必ず、はがきの裏面に記入・押印して係員にお渡しください。

対象者**水色のはがき（1万円支給）**

70 歳の方（昭和 18 年 9 月 17 日～昭和 19 年 9 月 16 日生）

77 歳の方（昭和 11 年 9 月 17 日～昭和 12 年 9 月 16 日生）

80 歳の方（昭和 8 年 9 月 17 日～昭和 9 年 9 月 16 日生）

88 歳の方（大正 14 年 9 月 17 日～大正 15 年 9 月 16 日生）

90 歳の方（大正 12 年 9 月 17 日～大正 13 年 9 月 16 日生）

101 歳以上の方（大正 2 年 9 月 16 日以前に生まれた方）

オレンジ色のはがき（7万円支給）

100 歳の方（大正 2 年 9 月 17 日～大正 3 年 9 月 16 日生）

黄色のはがき（5千円支給）

上記以外の 70 歳以上の方

※規則改正に伴い、今年度限りで支給を終了します。

※いずれも平成 26 年 4 月 1 日から支給当日まで、引き続き三沢市に住民登録がある方に限ります。

支給予定日に受給できなかった場合

12 月 24 日（水）～平成 27 年 3 月 17 日（火）の平日 9 時 30 分～16 時の間、介護福祉課（総合社会福祉センター内）で受け取ることができます。

はがきを失くした場合

再交付の手続きが必要となりますので、身分証など本人を証明するものを持参してください。

※大変混雑しますので、ご自分が対象となる日時・場所を事前に確認の上、お受け取りください。また、お待たせする場合がありますので、ご了承ください。

**支給予定日**

日 時	対象地区	支 給 場 所
9:15～10:00	塩釜	塩釜農民研修所
9:15～10:55	春日台 1～2、古間木 1、本町 1～2	春日台社会福祉センター
10:15～10:50	織笠	織笠地域集会所
11:05～11:30	新森、砂森	新森地区コミュニティ集会施設
11:10～12:30	古間木 2～4、春日台 3、字犬落瀬	古間木地区 高齢者能力活用センター
11:55～12:10	八幡、富崎、越下	越下地区コミュニティ集会施設
13:25～14:00	谷地頭	谷地頭農民研修所
13:30～14:00	薬師町	薬師地区コミュニティ集会施設
14:20～15:40	本町 3～4、新町	新町地区コミュニティ集会施設
14:25～14:35	高野沢	高野沢地区コミュニティ集会施設
14:55～15:15	根井、朝日	根井地区コミュニティ集会施設
15:40～15:50	三沢老人ホーム	三沢老人ホーム
9:15～10:50	南山、深谷、深南、さつきヶ丘	深谷地区コミュニティ集会施設
9:20～10:15	六川目	六川目社会福祉センター
10:30～10:55	細谷	細谷地区集会所
11:10～12:10	堀口	北園堀口地区コミュニティ集会施設
11:10～12:20	淋代	淋代地区コミュニティ集会施設
13:15～13:45	浜三沢	浜三沢社会福祉センター
13:30～14:10	鹿中	鹿中地区集会所
14:05～15:25	大津	大津社会福祉センター
14:30～15:20	三川目	三川目地区コミュニティ集会施設
9:15～9:50	千代田町	千代田町地区コミュニティ集会施設
9:15～10:00	前平	前平社会福祉センター
10:10～11:00	栄町	栄町地区コミュニティ集会施設
10:20～11:00	泉町、日の出	日の出地区コミュニティ集会施設
11:15～12:30	南町、松原町	南町地区コミュニティ集会施設
11:20～11:45	駒沢	駒沢地区コミュニティ集会施設

※上記以外の地区にお住いの方へは、12 月 19 日（金）と 22 日（月）の 9:00～11:45 および 13:00～15:45 に、総合社会福祉センターで支給します。

広告

広告

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

学校教育課（内線 294）

平成 26 年 4 月 22 日に、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査の三沢市の結果をお知らせします。

調査対象 市内小学校（7 校）6 年生 378 人、市内中学校（5 校）3 年生 407 人
調査結果

**①教科に関する調査（国語、算数・数学の主に「知識」と「活用」に関する問題）の平均正答率（%）**

国 語	小学校 6 年生			中学校 3 年生		
	三沢市	青森県	全 国	三沢市	青森県	全 国
知 識	78.5	76.6	72.9	79.5	81.0	79.4
活 用	63.3	60.5	59.5	48.8	52.0	51.0
算数・数学	82.6	81.3	78.1	65.6	69.3	67.4
活 用	63.7	60.8	59.2	57.7	60.7	57.7

②質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活等に関する質問 単位：%）

質 問 内 容	三沢市	青森県	全 国
「朝食を食べていますか？」の質問に 「食べている」と回答した児童・生徒	96.6	96.2	96.0
「普段（月～金曜日）、1 日あたりスマートフォンを含めてどれくらいテレビゲームをしますか？」の質問に「1 時間以下」と回答した児童・生徒	50.0	49.1	45.2
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか？」の質問に 「寝ている」と回答した児童・生徒	83.6	82.2	79.2
「家の人と学校の出来事について話をしますか？」の質問に 「します」と回答した児童・生徒	79.4	76.2	74.1
「国語の勉強は好きですか？」の質問に 「好きだ」と回答した児童・生徒	82.3	80.1	80.4
「算数・数学の勉強は好きですか？」の質問に 「好きだ」と回答した児童・生徒	75.2	74.4	72.6
「国語や算数・数学の勉強は好きですか？」の質問に 「好きだ」と回答した児童・生徒	60.1	60.4	59.2
「算数・数学の勉強は好きですか？」の質問に 「好きだ」と回答した児童・生徒	70.0	63.7	68.2
「算数・数学の勉強は好きですか？」の質問に 「好きだ」と回答した児童・生徒	71.4	69.3	66.1
「算数・数学の勉強は好きですか？」の質問に 「好きだ」と回答した児童・生徒	56.7	57.0	56.6

生活面での質問は、おおむね全国平均を上回っていますが、県平均に達していない項目も一部見られます。全国の傾向は、小・中とも「朝食をきちんと摂ること」「ゲームの使用時間が少ないと感じます」と「就寝時間が決まっていること」「保護者との会話が多いこと」などが正答率を高める要因のことでした。特に、「保護者との会話の機会」と小学校の「国語（活用）」との関連が顕著でした。これらのことから、三沢市では、学校が家庭の生活習慣改善を啓蒙していくよう支援します。

また、学習面では、「国語や算数・数学の勉強は好きですか？」の問い合わせに「好きだ」と回答した児童・生徒は、小学校が算数で 7 割、中学校は国語で 7 割でした。教科の好き嫌いが正答率と関連している傾向がうかがえます。このことから、教員を対象とした諸研修会で、魅力ある授業づくりを奨励していきたいと考えています。

来年度は、調査する教科に「理科」が加わります。三沢市では、これまで積み上げてきた教師の指導力を一層向上させるため、本調査の結果を市内教職員と共有しながら、児童・生徒の学力向上に取り組んでいきます。

広告

広告

各月1週間放送される「施設案内」「消防」「福祉」関連番組の放送予定

みさわタウンガイド いってきます!	守ろう!ぼくらの街 みさわ	みさわ健康便り
12/8(月) 19:10~ 特集 室内温水プール	12/15(月) 19:10~ 特集 温水訓練	12/22(月) 19:10~ 特集 糖尿病予防
1/2(金) ~総集編を放送します~ 平成26年放送分を 一挙放送! 「みさわタウンガイドいってきます! S.P」11:00~ 「みさわ健康便り S.P」15:00~ 「守ろう!ぼくらの街みさわ S.P」17:00~ ※再放送は、電子番組表(EPG)で確認ください。		

2014年 12月 番組表

12月8日
1月7日

※その日放送される「マックニュースライン」市内の出来事はデータ放送で確認できます。
※予告なく番組が変更されることがあります。
※初回放送
※N:マックニュースライン
※天:気予報

※再放送は、電子番組表(EPG)で確認ください。

11(木)

12(金)

13(土)

14(日)

15(月)

16(火)

17(水)

18(木)

19(金)

20(土)

21(日)

22(月)

23(火)

24(水)

25(木)

26(金)

27(土)

28(日)

29(月)

30(火)

31(水)

1/1(木)

2(金)

3(土)

4(日)

5(月)

6(火)

7(水)

8(木)

9(金)

10(土)

11(日)

12(月)

13(火)

14(水)

15(木)

16(金)

17(土)

18(日)

19(月)

20(火)

21(水)

22(木)

23(金)

24(土)

25(日)

26(月)

27(火)

28(水)

29(木)

30(金)

31(土)

1/1(日)

1/2(月)

1/3(火)

1/4(水)

1/5(木)

1/6(金)

1/7(土)

1/8(日)

1/9(月)

1/10(火)

1/11(水)

1/12(木)

1/13(金)

1/14(土)

1/15(日)

1/16(月)

1/17(火)

1/18(水)

1/19(木)

1/20(金)

1/21(土)

1/22(日)

1/23(月)

1/24(火)

1/25(水)

1/26(木)

1/27(金)

1/28(土)

1/29(日)

1/30(月)

1/31(火)

1/32(水)

1/33(木)

1/34(金)

1/35(土)

1/36(日)

1/37(月)

1/38(火)

1/39(水)

1/40(木)

1/41(金)

1/42(土)

1/43(日)

1/44(月)

1/45(火)

1/46(水)

1/47(木)

1/48(金)

1/49(土)

1/50(日)

1/51(月)

1/52(火)

1/53(水)

1/54(木)

1/55(金)

1/56(土)

1/57(日)

1/58(月)

1/59(火)

1/60(水)

1/61(木)

1/62(金)

1/63(土)

1/64(日)

1/65(月)

1/66(火)

1/67(水)

1/68(木)

1/69(金)

1/70(土)

1/71(日)

1/72(月)

1/73(火)

1/74(水)

1/75(木)

1/76(金)

1/77(土)

1/78(日)

1/79(月)

1/80(火)

1/81(水)

1/82(木)

1/83(金)

1/84(土)

1/85(日)

1/86(月)

1/87(火)

1/88(水)

1/89(木)

1/90(金)

1/91(土)

1/92(日)

1/93(月)

1/94(火)

1/95(水)

1/96(木)

1/97(金)

1/98(土)

1/99(日)

1/100(月)

1/101(火)

1/102(水)

1/103(木)

1/104(金)

1/105(土)

1/106(日)

1/107(月)

1/108(火)

1/109(水)

1/110(木)

1/111(金)

1/112(土)

1/113(日)

1/114(月)

1/115(火)

1/116(水)

1/117(木)

1/118(金)

1/119(土)

1/120(

命救う仕事の大切さや難しさを学ぶ ふれあい消防フェスタ

10月26日

体験を通して消防・救命活動への理解を深めてもらおうと、市消防本部がミス・ビードルドームで『ふれあい消防フェスタ』を開催。市のグルメイベント『まんぶく祭』も同時開催され、市内外から多くの人々が訪れました。

ロープを使って移動するレスキュー体験に、筒先を使った放水体験、心肺蘇生法やAED使用法を学ぶ救急体験など5種類全てを制覇した来場者は、はしご車のパケットに乗って地上約20メートルの高所を体験。各種体験を楽しみながらも、大人から子どもまで改めて消防・救命活動の大切さや難しさを学び、消防・救急隊員へ尊敬と憧れの眼差しを向けていました。



▲消防隊員に支えられるながら、ロープでスリルを体験する来場者

楽しみながら知る地元食材の魅力 三沢のカボチャでいろんな体験

10月25日

市民団体『(自称)三沢バーベキュー協会』が「地元食材の魅力を知ってほしい」と『協働のまちづくり市民提案事業』を活用し、さまざまな体験型イベントを企画。その一つ、三沢市緑町にある洋菓子店『ラ・フランス』の店頭で開催されたハロウィンイベントに、約30人が参加しました。

最初に三沢産のカボチャを使ったパンプキンパイ作りを体験し、次はオレンジのカボチャをくり抜いて『ジャック・オー・ランタン(カボチャのお化けのディスプレイ)』作りに挑戦。親子協力して個性豊かなディスプレイを完成させた後は、カボチャやニンニク、鮭、やまざきポークなど、地元食材を使ったバーベキューランチを楽しみました。



▲カボチャをくり抜き、『ジャック・オー・ランタン』作りに挑戦する参加者親子

仲間と共に奏でるハーモニー

小・中学校音楽交歓発表会

11月6日

「音楽を楽しみ、互いに理解を深めてほしい」と毎年、市教育振興会が公会堂で開催する発表会に、松園幼稚園と市内小学校6校、中学校2校が参加。代表の子どもたちが合唱や合奏を披露しました。口を大きく開け、体全体で声を出すように歌う子どもたち。その声は美しいハーモニーとなって会場に響きわたり、他の参加者や観客たちを魅了しました。

全ての演奏終了後、教育振興会音楽部会長の平野祐一氏は「みんながつくり上げていく喜び、やればできるという自信を実感できた発表会になったのでは」と講評。さらに「この経験が学校生活に生きることを願います、感動で心が温まりました」と、その思いを伝えました。



▲重ねた練習の成果を発揮するべく、仲間と心を一つに歌う子どもたち

地域の人々の手で受け継がれる松林

海岸防災林復興植樹

10月25日

地域の人々が協力し植え育ててきた太平洋沿岸の松林は、これまで数々の災害から住む人々の命や財産、暮らしを守っていましたが、東日本大震災で被災。その復興に取り組む県が、公益財団法人三菱UFJ環境財団からクロマツの苗木1390本の無償提供を受け、五川目地域で植樹会を開催しました。海岸防災林の重要性を理解してもらおうと広く呼びかけたところ、三沢小学校と第二中学校の児童・生徒、淋代・鹿中・前平地区の町内会、米軍三沢基地や建設業者など約200人が参加。町内会や職場ごとの班に分かれた参加者は、海からの風を防ぐ衝立の陰に黒土を入れ、一本一本ていねいに植えていました。



▲「子孫と受け継いでいくよう」に、そんな願いを込めながら植える松の苗木

出来事通信

できごと つうしん

地域の“本職”講師が夢実現のためにアドバイス

仕事に学び、人に学ぶ、ゆめ実現推進事業

10月22日

「将来、夢見る職業に就くため、子どもたちに日々、目的意識と学習への意欲を持ってほしい」。子どもたちの成長を願う市と市教育委員会が、今年も公会堂で地域一体型授業を行いました。

事前アンケートをもとに今回開設した講座は、パイロットやスポーツ選手、大工、キャビンアテンダント、フラワーアレンジメントなど16

職種。実際にその職業に就く(就いていた)地域の人々がボランティアで講師を務め、市内全小学校の6年生児童396人へアドバイス。自らの経験をもとに、その職業に



▲ミット打ちを教える小比類巻貴之氏(中央)



就くため必要な知識や技術、当時抱いていた「その職業に就きたい」という熱い思いまで伝えていました。

『スポーツ選手』の講師を務めた地元出身の元総合格闘家・小比類巻貴之氏は、今回が初参加。空手を始めてからK-1選手として活躍するまでの経緯を話し、児童たちと会話を交わしながら、自身の思いを伝えました。小比類巻氏をはじめ、それぞれの職業に実際に就いていた講師が語る『本物の言葉』に、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

『地域の孫』と新そば作り

古間木地区『おらほの寺子屋』

10月22日

古間木地区の介護予防教室『おらほの寺子屋』に通う高齢者25人が、古間木小学校2年生16人と先生、そば作り団体『二八の会』の指導者6人を招き、同地区高齢者能力活用センターで『新そば作りの会』を開催。そば作りを教わる子どもたちと交流しました。

子どもたちは初めてのそば作りに興奮しながら、一通りの工程を体験。最後は、全員そろって作った新そばを試食しました。「おいしい!」「いくらでも食べれる」と喜びながら食べる子どもたち。そんな『地域の孫』を手伝い見守った『おらほの寺子屋』メンバーたちは、「子どもたちと一緒にいると元気になります」とうれしそうに話していました。



▲古間木小児童にそば作りを教える『二八の会』と『おらほの寺子屋』メンバー

貴重な資料「最もふさわしい場所へ」

寺山修司演劇の舞台模型を寄贈

10月22日

寺山修司が主宰し、海外でも多くの公演を行った演劇実験室『天井棧敷』。1978年にオランダで演劇『奴婢訓』を上演した際の舞台模型が、オランダの演出家、エリカ・ビルダーさんから寺山修司記念館へ寄贈されました。

箱型の模型は木製で、実物と同じように配置され、観客席や舞台を自由に動かせる仕組み。寺山演劇の世界観を表現するため、劇場空間をどのように構成したかを知ることができます。当時、劇場スタッフだったエリカさんは、亡くなったプロデューサーから譲り受けた模型をこれまで大切に保管。しかし、最もふさわしい保管・展示場所を考え、記念館に寄贈することになったのです。



▲多くの人に寺山作品の魅力が伝わることを願い、笑顔を見せるエリカさん

問問い合わせ先 申し込み先 場開催場所

お知らせ

夕暮れ時は早めのライト点灯
12月11日(木)～20日(土)は、冬の交通安全県民運動期間です。この時期は、夕暮れ時・夜間における高齢者の事故や、飲酒運転による重大事故が心配されるほか、積雪や凍結した路面でのスリップ事故が多発する傾向にあります。一人一人が交通ルールを守り、交通事故を防止しましょう。

農業委員選挙人名簿登載申請
申請手続きを忘れずに

有資格者は、12月中旬までに送付する様式で農業委員会事務局へ申請してください。

▼問 資格要件

① 生年月日が平成7年4月1日以前の方

② 10アール以上の農地につき耕作の業務を営む方

③ ②の方の同居親族または配偶者で、年間おおむね60日以上の耕作に従事する方

申請期限 平成27年1月9日(金)

または選挙管理委員会事務局
(内線255・256)

催し

ぎんなん寮クリスマスセール
きれいな鉢花で楽しい聖夜を
シクラメン、ポインセチア、
各種鉢花やハム、ソーセージ
などを販売します。開催期間
中は、園芸商品を20%、加工
食品を10%割り引きます。

とき 12月13日(土)～25日(木)
ところ 公立ぎんなん寮
(直売所ハンズ・大温室)
※12月26日(金)～29日(月)には
正月用きり花を販売します。

▼問 公立ぎんなん寮

航空科学館イベント情報

スワイーツキャンドル作り

思わず食べたくなるくらい
おいしそうなスワイーツキャンドルを作ります。

とき 12月6日(土)～28日(日)
の(日)(祝)

※24日(水)～26日(金)まで
開催します。

① 11時～11時40分
② 14時30分～15時10分

※受付は各30分前

ところ 科学実験工房

▼問 参加料 150円(材料費)
※保護者の同伴が必要です。
参考定員 各20人(先着順)

▼問 県立三沢航空科学館

「廣澤安任交遊録」		先人記念館 企画展	
元斗南藩士であり、三沢に開いた廣澤安任。多くの人脈に恵まれた彼の交遊録を、先人記念館の収蔵資料などからたどり、その人となりを探ります	日本初の民間洋式牧場を開いた廣澤安任。多くの人脈に恵まれた彼の交遊録を、先人記念館の収蔵資料などからたどり、その人となりを探ります	期 間	11月29日(土)～
高校生以上	平成27年3月29日(日)	9時～16時	9時～16時
小・中学生	50円		
幼稚園以下	無料		
入館料	※毎週(土)は小・中学生無料		
▼問 先人記念館	(☎59-3009		

募集

(8)
54
142
212
内線
211
8

第40回を迎える『民俗芸能表会』では、その節目を記念して、当日舞う権現舞の中で厄祓いを行います。

三沢地区小・中学校卓球大会
参加者を募集します

愛好会会員を募集します
カウボーイハットにブルージーンズのスタイル、ウエスタンメドレーにのつて軽快なダンスを楽しんでみませんか？

新年互会
共に新年を祝いましょう
と き 平成27年1月6日(火)
12時～13時30分頃
申込締切 12月12日(金)
会 費 2000円
ところ きざん三沢
※会費を添えて広報広聴課へ
直接お申し込みください。
※電話・FAXでのお申し込
みはご遠慮ください。

▼問 広報広聴課（内214）

図書館からのお知らせ
図書館シネマ（上映会）
タイトル 『スノーマン』
スノードッグ』
とき 12月13日(土)13時～

図書館からのお知らせ
図書館シネマ（上映会）
タイトル『スノーマン』
と き 12月13日(土)13時
ところ 3階第1会議室
参加料 無料

「働きながら学んで大学を卒業したい」「学びを楽しみたい」など、さまざまな目的で幅広い世代や職業の方が、心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など幅広い分野を学んでいます。

ところ 公会堂
定員 10人（先着順）
参加料 無料
申込締切 平成27年
1月7日(水)17時
▼申問 活動委員会
生涯学習課
(内線379)

※種目・氏名・学校名・電話番号を明記の上、郵送で下さい。
申込ください。

20時30分
ところ 中央社会福祉センター
（「働く婦人の家」裏）
会費 月500円
▼申問 カントリーウエヌタ
ンダンス三沢愛好会
(☎ 53-17341)

市民無料相談

- | | |
|--|------------------------------------|
| ●法律相談 (法テラス青森主催) | 3日(木)・17日(水)
1月7日(火)
13時～16時 |
| 問 間 法テラス青森 (☎ 050-3383-5552) | |
| 場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名・受付条件あり | |
| ●法律相談 (社会福祉協議会主催) | 9日(火)
13時～16時 |
| 問 間 社会福祉協議会 (☎ 52-3270) | |
| ※要電話予約・先着6名 | |
| ●法律相談 (市主催) | 24日(水) |
| 問 間 広報広聴課 (内 345) | 13時～16時 |
| 場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名 | |
| ●人権・行政相談 | 15日(月) |
| 問 間 広報広聴課 (内 345) | 10時～15時 |
| 場 市民相談室 | |
| ●人権・困り事相談 | 11日(木)・25日(木)・1月8日(木) |
| 問 間 人権・困り事相談所 (☎ 52-7083) | 9時30分～15時 |
| 場 市民活動ネットワークセンターみさわ (旧ふれあいの館) | |
| ●教育相談 | 毎週(月)～(金) |
| 問 間 国際交流教育センター内教育相談室 (☎ 53-6060) | 8時15分～16時 |
| ●家庭児童・婦人相談 | 毎週(月)～(金) |
| 問 間 家庭福祉課 (内 381) | 9時～16時 |
| ●育児・子育て支援相談 | 相談日時は事前に
お問い合わせ
ください |
| 問 間 三沢地域子育て支援センター (☎ 53-1176) | |
| 問 間 びこりんパーク (☎ 53-7772) | |
| 問 間 子育てサロン ミルキールーム (☎ 51-1512) | |
| ●育児・子育て支援相談 | 毎週(月)～(金) |
| 問 間 みさわファミリーサポートセンター (☎ 50-1518) | 9時～16時30分 |
| ●消費者生活相談 | 毎週(月)～(金) 9時～17時30分 |
| 問 間 県消費生活センター (☎ 017-722-3343) (土・日・祝) 10時～16時 | |
| ●警察安全相談 | 随時
電話相談可 |
| 問 間 三沢警察署総務課 (☎ 53-3145) | |
| ●犯罪被害者支援相談 | 毎週(月)～(金) |
| 問 間 青森県地方検察庁被害者ホットライン
(☎ 017-722-1234) | 9時～16時30分 |
| ●がん・緩和ケア・医療相談 | 毎週(月)～(金) |
| 問 間 三沢市立三沢病院地域医療連携室内
(☎ 51-1375) | 9時～16時 |
| ●介護・福祉相談 | 毎月第2火
14時～16時 |
| 問 間 三沢市立三沢病院地域医療連携室内
(☎ 51-1375) | |

上十三・十和田湖広域定住自立圏内で開催されるイベントなどの情報をお知らせします。

くわんとNAUI 上十三・十和田湖広域定住自立圏情報



十和田市 とわだまちなか プロジェクトマッピング

市内3カ所の施設壁面を利用して、光のアート「プロジェクトマッピング」を行います。
どんな映像が映し出されるのか、お楽しみに！
期間 12月5日（金）・6日（土）18:30～20:00
場所 十和田市現代美術館、市民交流プラザ、アートステーショントワダ

★問い合わせ先 十和田市観光推進課（☎ 0176-51-6772）

駒っこランド クリスマスウィーク

期間中は「サンタくじ」や「ミニサンタをさがそう！」を開催。また、21日（日）には、クリスマス会を開き、ケーキのプレゼントやbingo大会などを行います。

期間 12月20日（土）～25日（木）
※22日（月）は休苑日です。



場所 十和田市馬事公苑（駒っこランド）
▶クリスマス体験教室／12月14日（日）10:00～15:00
フラワーアレンジメント（申込締切12/6）やレジンアートを作ります。詳しくはお問い合わせください。
▶クリスマス会／12月21日（日）10:00～14:00
臨時馬車運行やサンタさん・お馬さんとの記念撮影コーナーほか、各種ステージイベントが盛りだくさん！
中学生以下の先着150人にケーキを、称徳館入館者先着100人にココアをプレゼント！

★問い合わせ先 十和田市馬事公苑称徳館（☎ 0176-26-2100）

広告

広告



小坂町（秋田県） クリスマスマーケット in 小坂

かつて小坂町に赴任した、ドイツ人鉱山技師クルト・ネットーの故国ドイツの伝統的なイベント『クリスマス・マーケット』。大人から子供まで楽しめる、小坂の冬の風物詩となる町民手作りイベントを初開催します。

日 時 12月6日（土）、13日（土）、20日（土）
場 所 明治百年通り

（国際交流広場、天使館／秋田県小坂町）
内 容 ▶クリスマス・マーケット
▶クリスマスライトアップ
▶クリスマスソングライブ
▶電飾トラクター運行
▶クルト・ネットー特別展示
など



★問い合わせ先
小坂町役場観光産業課観光商工班（☎ 0186-29-3908）



横浜町 横浜なまこフェア

正月名物「横浜なまこ」を一足先に期間限定、数量限定で味わえるイベントです。

期 間 12月1日（月）～14日（日）
場 所 道の駅よこはま 菜の花プラザ
(9:00～16:30 ラストオーダー)
トラベルプラザ サンシャイン
(10:00～15:00)



オープニングセレモニー

日 時 12月1日（月）
11:00～
場 所 道の駅よこはま

★問い合わせ先

横浜町産業振興課（☎ 0175-78-2111 内線351）

広告

広告

CONCERT

三沢商業高等学校吹奏楽部 定期演奏会 「Keep Holding On」

多くの方のご来場をお待ちしています。

日 時 12月21日（日）17:00～（開場 16:30～）

場 所 公会堂 大ホール

曲 目 第1部 吹奏楽ステージ

吹奏楽のための組曲「ハムレットへの音楽」より他

第2部 マーチングステージ「津軽の夏 -NEBUTA-」

第3部 ポップスステージ「LEGEND」

入場料 500円（当日券）

※前売り券（400円）のお求めは、公会堂または三沢商業高校事務室へ

★問い合わせ先 県立三沢商業高等学校吹奏楽部（☎ 53-2880）



LECTURE チャレンジ！市民ひとり芸ースポーツ 年末企画 特別講習会（ミニ門松作り）

高さ約40cmミニ門松を飾り、楽しいお正月を迎ませんか？

日 時 12月27日（土）9:00～12:00

場 所 市民の森老人福祉センター 大広間

定 員 10人（先着順）

受講料 1個2,000円（材料費）

申込締切 12月14日（日）17:00

※当日は、作成したミニ門松用の
入れ物をご準備ください。



★申し込み・問い合わせ先
市民の森老人福祉センター（☎ 59-3388）

EVENT チャレンジ！市民ひとり芸ースポーツ 市民の森 新春餅つき大会

みなさんと一緒に和気あいあいと、つきたてのおいしいお餅を食べて、新たな年の健康を祈願しましょう！

日 時 平成27年1月4日（日）

①10:00～②14:00～

場 所 市民の森老人福祉センター

参 加 料 無料

※お餅の配布（約200人分）は、
無くなり次第終了します。

★問い合わせ先
市民の森温泉浴場（☎ 59-3388）



CONCERT

ニューイヤー・フレッシュコンサート

三沢市出身の音大生と音大卒業生による
コンサートをご鑑賞ください。

日 時 平成27年1月6日（火）18:30～

場 所 公会堂 小ホール

入場料 無料

★問い合わせ先

中央公民館【公会堂】（☎ 53-8711）



INVITE

三沢病院ハートフルコンサート 出演者・スタッフを募集します

入院されている方々と聴衆者が安らぎと希望を共感できる『市民による市民のための手作りコンサート』を毎月1回、市立三沢病院で開催しています。平成27年度のボランティア出演者および運営スタッフを募集します。

参加条件

- ①全てボランティア活動であることに理解があること。
- ②個人・団体は問いません。
- ③クラシック、邦楽、ポップス、合唱、独奏など、ジャンル・演奏形態は問いません。
- ④30～45分程度の演奏を基準とします。
- ⑤グランドピアノは病院のものを使用可。他の楽器は持参してください。



申込方法

「出演希望」または「運営スタッフ希望」、氏名、住所、電話番号を明記の上、FAX・郵送でお申し込みください。

応募締切 12月30日（火）必着

★申し込み・問い合わせ先

市立三沢病院ハートフルコンサート代表 成田俊太郎
(☎・FAX 52-6097) 〒033-0033 三沢市美野原2-12-4

LECTURE

語学講座「英語で話そう！」

実際に使える英語を学びます。初心者も大歓迎です。

日 時 12月15日（月）、平成27年1月13日（火）

10:00～12:00

場 所 国際交流教育センター

定 員 20人（先着順）

受講料 1,500円

※受講料は、当日、現金でお支払いください。



★申し込み・問い合わせ先

みさわ国際交流協会【国際交流教育センター内】
(☎ 080-6022-1349) ※受付は土日祝を除く 10:00～16:00

かからない！うつさない！ インフルエンザ

寒い冬がやってきました。冬は空気が乾燥し、インフルエンザをはじめ、さまざまな感染症にかかりやすい季節です。

「かからない」「うつさない」の合言葉で、予防に努めましょう！



インフルエンザ

インフルエンザウイルスの感染によって、38度以上の発熱、咳やのどの痛み、だるさ、関節の痛みなど全身に症状があらわれます。重症化すると、気管支炎や肺炎、脳炎などになる危険性があります。毎年1~2月が流行のピークです。

特に高齢者、子ども、妊婦、ぜん息、慢性疾患、糖尿病の持病がある人は、重症化しやすいので注意が必要です。

「かからない！」のために…

- ▶手洗い、うがいをする。
- ▶部屋の湿度は50%~60%に保つ。
- ▶マスクをする。咳エチケットの実践。
- ▶アルコールを含んだ消毒液で手を消毒する。
- ▶栄養と休養を十分にとり、抵抗力を高めておく。
- ▶インフルエンザ予防接種をする。



「うつさない！」のために…

- ▶マスクをする。
- ▶人混みに行かない。
- ▶部屋の換気をする。
- ▶病院で受診し、医師・薬剤師の指示を守る。
- ※熱が下がり症状が治まっても、約2日間はうつさない可能性があります。解熱後も2日程度は自宅療養が望ましいでしょう。

病院受診のタイミング

比較的急速に38度以上の発熱があり、咳やのどの痛み、だるさを伴う場合は、インフルエンザに感染している可能性があります。早めに医療機関で受診しましょう。

また、以下のような重症化のサインがある場合は、すぐに医療機関で受診してください。



【重症化のサイン】

- ▶けいれんを起こす。
- ▶下痢やおう吐が続く。
- ▶呼吸が早い、苦しそう、息切れをする。
- ▶顔色が青白い。
- ▶症状が長引き、悪化してきた。

インフルエンザの感染力は非常に強く、毎年約10人に1人が感染しています。家庭や学校、職場など、さまざまな場所における一人一人の予防が大切です。

問い合わせ…保健相談センター ☎ 57-0707



12月の保健 だより

長久保 雅（みやび）ちゃん／10カ月

休日救急診療			
12月 7日（日）	さいとう耳鼻咽喉科クリニック	50-1406	
12月 14日（日）	平山泰照皮ふ科医院	53-1255	
12月 21日（日）	中山内科医院	52-7752	
12月 23日（火祝）	みさわクリニック	53-3739	
12月 28日（日）	鳴海外科医院	53-3056	
12月 29日（月）	ひぐちクリニック	50-1441	
12月 30日（火）	青い森こどもアレルギークリニック	58-7400	
12月 31日（水）	石田温泉病院	0178-52-3611	
1月 1日（木祝）	得居泌尿器科医院	50-1333	
1月 2日（金）	すずき小児科内科クリニック	52-6555	
1月 3日（土）	みさわクリニック	53-3739	
1月 4日（日）	まつそのクリニック	52-5050	

※17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。

健康診査・保健相談

内容・対象	月 日	時 間	場 所
プレママクラス（母親学級）	12月 4日（木）	13:30～15:30 (受付 13:15～13:30)	
内 容 マタニティヨガまたは調理実習の選択制 ＊予約制です。当日は、母子健康手帳、バスタオル（ヨガ）、エプロン・三角巾（調理実習）をお持ちください。			
4ヶ月児健康診査	12月 16日（火）	受付 12:45～13:15	
＊ブックスタート事業（絵本の読み聞かせや絵本のプレゼント）があります。			
6～7ヶ月児健康相談	12月 16日（火）	受付 9:30～10:00	
9～10ヶ月児健康相談	12月 10日（水）	受付 9:30～10:00	
1歳6ヶ月児健康診査 (平成25年4月生まれの幼児)	12月 18日（木）	受付 12:45～13:15	
2歳児歯科健康診査 (平成24年7月生まれの幼児)	12月 10日（水）	受付 12:45～13:15	
3歳児健康診査 (平成23年5月生まれの幼児)	12月 17日（水）	受付 12:30～13:00	
▶乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオルなどを持参してください。 1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票などを忘れずに。 体調不良や感染症などのときは受診をご遠慮ください。			
栄養相談	随時受付（予約制）		
一般健康相談	月～金曜日随時	8:30～16:30	
こころのケア相談 電話相談	12月 11日（木）	10:00～12:00 13:00～15:00	
	12月 25日（木）	10:00～12:00 13:00～15:00	
＊面接は前日までに要予約 ☎ 57-0029（専用電話）			

献血の お知らせ

日 時	場 所
12月 18日（木）10:00～16:00	三沢市役所
1月 2日（金）10:00～11:45 13:00～16:00	ビードルプラザ (北側駐車場)

INVITE 初めて手話を学ぶ方のための体験講座

日 時 平成27年1月10日、17日、24日、31日、
2月7日の土曜日 19:00～20:30

場 所 総合社会福祉センター
対 象 青森県内に在住する



18歳以上の方

定 員 40人（先着順）

参 加 料 無料

申込方法 住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先、「手話講習会（上三地区）希望」と明記の上、はがきかFAXでお申し込みください。

申込締切 12月22日（月）

※受講決定については別途通知します。

★申し込み・問い合わせ先

青森県聴覚障害者情報センター（☎ 017-728-2920）

FAX 017-728-2921

〒030-0944 青森市筒井字八ツ橋76-9

INFORMATION 年末年始の休業・休館日をお知らせします

施設名	休業期間	問い合わせ先
市役所	12月27日（土）～1月4日（日）	☎ 53-5111
市立三沢病院	12月27日（土）～1月4日（日）	☎ 53-2161 ※一般外来が休診となります。
清掃センター	12月31日（水）～1月4日（日）	☎ 59-3331
公会堂	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 53-8711
図書館	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 53-6040
寺山修司記念館	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 59-3434
歴史民俗資料館	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 59-3670
先人記念館	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 59-3009
道の駅くれ馬ば～く	12月31日（水）～1月1日（木祝）	☎ 59-2711
県立三沢航空科学館	12月29日（月）～1月1日（木祝）	☎ 50-7777
総合体育館	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 53-1218
武道館	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 57-0050
アイスアリーナ	12月30日（火）～1月1日（木祝）	☎ 57-2100
屋内温水プール	12月29日（月）～1月3日（土）	☎ 59-3850
温泉浴場	12月31日（水）～1月1日（木祝）	
市民の森 の森	※12月29日・30日、1月2日・3日 の営業時間は9:30～17:00	☎ 59-3388 ☎ 59-2246
老人福祉センター	12月27日（土）～1月4日（日）	☎ 51-8770
レストハウス		
食事処「おおせつか」		
やすらぎ荘	12月29日（月）～1月3日（土）	
総合社会福祉センター	12月27日（土）～1月4日（日）	☎ 51-8770 ※貸館業務は12月26日（金）～1月5日（月）
国際交流教育センター	12月27日（土）～1月4日（日）	☎ 51-1255 ※貸館業務は12月26日（金）～1月5日（月）
火葬場	1月1日（木祝）～2日（金）	☎ 54-2216
保健相談センター	12月27日（土）～1月4日（日）	☎ 57-0707
市民活動ネットワーク センターみさわ	12月28日（日）～1月4日（日）	☎ 52-7083 ※12月27日（土）は9:00～16:00

ワンポイント消防

住宅用火災警報器

命を守る住宅用火災警報器を設置しましょう！

火災による死者の約9割が、住宅火災が占めています。

就寝中や仕切られた部屋などの火災発生を、いち早く教えてくれる「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

詳しい内容については、三沢市ウェブサイト内の「消防救急>住宅用火災警報器」をご覧いただけます。

問い合わせ先 消防本部予防課（☎ 54-4279）

住宅用火災警報器を寝室や階段に設置していないご家庭は早急に設置しましょう。 消防本部予防課



INFORMATION ごみの減量にご協力ください

年末年始は、ごみの量が特に多くなります。
ごみの減量にご協力ください。また、清掃セン

ターも大変混み合いますので、直接持ち込む場

合は、時間に余裕を持ってお越しください。

持ち込みできる時間（月～金）9:00～16:30

（土）9:00～12:00

★問い合わせ先 清掃センター（☎ 59-3331）

広告

上久保在住の86歳。太極拳やフラメンコなど精力的に活動し、その年齢にとらわれない生き生きとした生活を継続。『エイジレス・ライフ』実践者として表彰された。10月30日、市長室を訪問した木村さんに、種市市長らが内閣府書状や楯を伝達。木村さんは喜びや感謝とともに、その思いを語った。

木村 ムツさん



地域で頑張る人々を紹介します

「継続は力なり、続けてこられてよかったです」

地域に太極拳教えるなど生き生き暮らし、エイジレス章を受賞

現在86歳の木村さんは、弘前市の出身。小学校の普通教諭・養護教諭の資格を持ち、最初は3年だけの予定で三川目小学校に赴任した。しかし、地域の魅力に惹かれ、現在までの約40年間、三沢に住み続けることに。「アメリカさん（外国人）がいたので珍しかったのだと思います」と木村さんは当時を振り返った。

その後、60歳で退職した木村さんはフラメンコを始めたが、その激しい動きに膝などを痛め、続けていけるか悩んでいた。そんなときに偶然出会ったのが、太極拳だった。自分のペースで無理なくゆっくり体を動かすことができ、高齢者でも続けられる。魅せられた木村さんは太極拳を始め、73歳で日本武術太極拳連盟の指導員資格を取得。3つの太極拳サークルで、年間約

高齢者が、年齢にとらわれず、自らの責任と能力で生き生きとした生活を送る『エイジレス・ライフ』。その模範的な実践者として、今年県内で唯一、三沢市に住む木村ムツさんが、内閣府から『エイジレス章』を受章した。

現在86歳の木村さんは、弘前市の出身。小学校の普通教

諭・養護教諭の資格を持ち、最初は3年だけの予定で三川

目小学校に赴任した。しかし、

地域の魅力に惹かれ、現在ま

での約40年間、三沢に住み続

けることに。「アメリカさん

（外国人）がいたので珍しかつたのだと思います」と木村さ

んは当時を振り返った。

木村さんへ、種市市長らが書状と記念の楯を伝達。木村さんは喜びや感謝とともに、活躍の中で抱いてきた想いなどを語った。「太極拳では腹式呼吸が大切。（太極拳の練習を）終えるとさっぱりします。それですと続けることができる」と笑顔を見せる木村さん。子どもたちや練習仲間との交流も、活動の力になつたとのことだ。木村さんはこれまでを振り返り、「『継続は力なり』と言いますが、お蔭さまで続けてこられました。自分でもよかつたと思っています。太極拳はずっと続けていきたいです」と、さらなる継続へ意欲を見せた。

人口と世帯数 — 10月末現在 — ※ () 内は前月との増減比較

■人口 41,483人 (+14人)・男 20,369人 (-2人)・女 21,114人 (+16人) ■世帯数 18,832世帯 (+16世帯)